

お薬を服用されていても、種類や服用期間により、献血ができる場合があります。下記に主なお薬を示しますので、ご参考にご覧ください。後発品などたくさんのお薬がありますので、詳しくは検診医師または受付職員にお尋ねください。
 献血にご協力いただく際には、お薬またはお薬手帳をお持ちいただくか、薬剤名をご申告ください。なお、**検診医師が健康状態等を考慮し総合的に判断し、献血をご遠慮いただく場合もありますので何卒ご了承ください。**

当日服用していても採血できる対象薬(健康状態が献血に不適でない限り考慮しなくてよい)		
種類	注意事項	
ビタミン薬	ビタミンKを除く	健康状態が献血に不適でない限り考慮しなくてよい。
漢方薬	肝炎治療のための服用を除く	
胃腸薬	感染性下痢症を除く	
降圧薬	<ul style="list-style-type: none"> ・合併症がないこと ・血圧がコントロールされていること ・服用開始直後、服用量を変更した場合は慎重に判断する 	複数剤の服用でも献血できる。
抗アレルギー薬 抗ヒスタミン薬	ステロイド含有薬を除く	>ステロイド含有薬(最終服用日を含む3日間採血できない) セレスタミン、エンペラジン、サクコルチン、セレスターナ、ヒスタブロック、プラデスミン、ベタセレミン など >市販の花粉症、アレルギー性鼻炎薬は献血できる
脂質異常症 (高脂血症)治療薬	抗ヒトPCSK9モノクローナル抗体製剤を除く	>抗PCSK9抗体製剤(3か月間献血できない) プラルエント、レパーサ
痛風・高尿酸血症 治療薬	痛風発作治療薬(コルヒチン)を除く	>痛風・高尿酸血症治療薬(献血できる) ベネシッド、コリノーム、ザイロリック、サロベール、フェブリク など
ピル	服用目的により採血できない場合がある	次の場合の使用に限り献血できる。 ・バースコントロール ・更年期・月経困難症等のホルモン補充療法
局所投与の薬物 (点鼻、点眼、吸入、外用、貼付薬)	心疾患、喘息、COPD、感染症など、症状・使用目的により献血できない場合がある	下記の場合は献血できない。 ・吸入薬、貼付薬…発作時に使用する薬(メプチン、ベロテック、ベネトリン、ツロブテロール、ホクナリン など) ・点鼻、点眼…感染症の症状に注意
緩下剤(便秘薬)		
禁煙補助薬	内服薬を除く	>内服薬(最終服薬日を含む3日間は採血できない) チャンピックス

薬の服用と献血ができるまでの期間について②

お薬を服用されていても、種類や服用期間により、献血ができる場合があります。下記に主なお薬を示しますので、ご参考にご覧ください。後発品などたくさんのお薬がありますので、詳しくは検診医師または受付職員にお尋ねください。
 献血にご協力いただく際には、お薬またはお薬手帳をお持ちいただくか、薬剤名をご申告ください。なお、**検診医師が健康状態等を考慮し総合的に判断し、献血をご遠慮いただく場合もありますので何卒ご了承ください。**

当日服用していなければ採血できる対象薬(症状がある場合は採血しない)

種類	注意事項	
内服用筋弛緩薬	原因となっている疾患により採血できない場合がある	> 内服用筋弛緩薬 アロフト、ミオナール、テルネリン、リンラキサー、ロキシーン、ロバキシム など
睡眠薬 抗不安薬	体調を考慮し判断する	> 睡眠薬・抗不安薬 マイスリー、ソメリン、ネルボン、サイレース、ハルシオン、デパス、レキソタン、ワイパックス、ソラナックス、メイラックス、セルシン、セバゾン、リーゼ など
前立腺肥大治療薬	アボダート、アボルブ、プロスカ、プロベシアを除く	> 前立腺肥大治療薬 パラプロスト、セルニルトン、フリバス、ユリーフ、ハルナール、エビプロスタット など

最終服薬日を含む3日間は採血不可、4日以上経過していれば採血できる対象薬

種類	注意事項	
抗菌薬 (抗生物質、化学療法剤) 抗ウイルス薬 抗真菌薬	・ 治癒していること ・ 原因となっている疾患により献血できない場合がある	
向精神薬	・ 服薬が不要となり症状が安定していること ・ 体調を考慮し判断する	> 向精神薬 抗精神病薬、抗うつ薬、抗そうつ薬、注意欠如・多動症(ADHD)治療薬 など
止痢薬(下痢止め)	感染性下痢症を除く	> 止痢薬 アドソルビン、フェロベリン、ロベミン など > 市販薬も同様
痛風発作治療薬		> 痛風発作治療薬 コルヒチン
喘息治療薬	1か月以上発作がない場合に限る	> 喘息治療薬 ・ β 2刺激薬(経口、吸入、貼付) ベネトリン、サルタノール、メプチン、ベロティック、イノリン、エフェドリン、ホクナリン など ・ キサンチン誘導体 テオドール、テオロング、アミノフィリン、アストモリジン など
解熱鎮痛薬 (非ステロイド系、 抗炎症薬、風邪薬)	無症状の場合や軽度の頭痛、月経痛に服用した場合などは、当日の服用でなければ採血できる。ただし、血小板献血を除く。	> 解熱鎮痛薬 アスピリン、インドメタシン、ボルタレン、ロキソニン、バファリン、PL顆粒 など > 市販薬も同様

薬の服用と献血ができるまでの期間について③

お薬には、原因となっている疾患や種類によって献血延期期間が決められている対象薬があります。

原因となっている疾患により採血できない対象薬(治癒後、服薬が不要となれば改めて判断する)

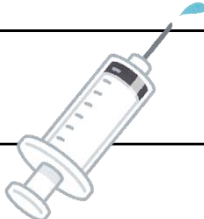
種類	注意事項	
抗けいれん薬		> 抗けいれん薬 プリドン、フェノバル、ノーベルバル、ルピアル、ワコビタール、ヒダントール、アレピアチン、デパケン など
抗凝固薬		> 抗凝固薬 ワーファリン、エリキュース、プラザキサ、イクザレルト、リクシアナ など
血小板凝集抑制薬		> 血小板凝集抑制薬 アスピリン、プラビックス、バイアスピリン、ドルナー、エパデール など
抗甲状腺薬		> 抗甲状腺薬 チウラジール、プロパジール、メルカゾール など
抗不整脈薬		> 抗不整脈薬 サンリズム、リスモダン、タンボコール、メキシチール、ワソラン、アミオダロン など
冠拡張薬	貼付薬含む	> 冠拡張薬 ニトログリセリン、ニトロール、フランドル など
心不全治療薬		> 心不全治療薬 ジゴキシン、タナドーパ、カルゲート など
糖尿病治療薬		> 糖尿病治療薬 ジャンヌビア、ザファテック、ジメリン、トラゼンタ、ファスティック、グルファスト、スーグラ、フォシーガ など

献血延期期間が定められている対象薬又は、無期延期の対象薬

種類	注意事項	
治療用ホルモン薬	1か月間延期	> 治療用ホルモン薬 ステロイドホルモン薬、性ホルモン薬、タンパク同化ホルモン薬
免疫抑制薬	1か月間延期 原因となっている疾患が 献血可能なものに限る	> 免疫抑制薬 イムラン、アザニン、セルセプト、エンドキサン、プログラフ など
抗がん剤	無期延期	
乾癬治療薬	延期期間は薬剤ごとに 定める	> 乾癬治療薬 ・チガソン…無期延期 ・アキュテイン…1か月延期 ・ソリアタン…3年間延期
育毛薬 前立腺肥大治療薬	延期期間は薬剤ごとに 定める	> 育毛薬・前立腺肥大治療薬 ・アボダート、アボルブ、デュタス、ザガーロ…6か月間延期 ・プロスカール、プロペシア、フィンペシア、フィンカー、フィナステリド …1か月間延期
輸血以外の 特定薬物由来製品	延期期間は薬剤ごとに 定める	> 輸血以外の特定薬物由来製品 ・アルブミン、グロブリン、フィブリノゲン、トロンビン…3か月延期 ・抗HBsヒト免疫グロブリン…6か月間延期 ・人由来プラセンタ注射薬(ラエンネック、メルスモン)…無期延期

予防接種後献血ができるまでの期間について

予防接種は、種類により献血ができるまでの期間が決められています。

予防接種		
種類	注意事項	
不活化ワクチン トキソイド	接種後24時間以内は 献血できない	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザワクチン ・百日咳ワクチン ・日本脳炎ワクチン ・ワイル病秋やみ混合ワクチン ・A型肝炎ワクチン ・子宮頸がんワクチン ・狂犬病ワクチン ・不活化ポリオワクチン ・コレラワクチン ・破傷風トキソイド ・肺炎球菌ワクチン ・ジフテリアトキソイド など
弱毒生ワクチン	接種後4週間以内は 献血できない	<ul style="list-style-type: none"> ・黄熱ワクチン ・風疹ワクチン ・生ポリオワクチン ・水痘ワクチン ・麻疹ワクチン ・BCGワクチン ・おたふくかぜワクチン ・腸チフス・パラチフスワクチン など
B型肝炎ワクチン	接種後2週間以内は 献血できない	
天然痘ワクチン	接種後2か月間は 献血できない	接種後に皮膚病変、副反応があった場合は延期される。
抗HBsヒト免疫グロブリン	接種後6か月間は 献血できない	
動物にかまれた後の 狂犬病ワクチン	接種後1年間は献血 できない	
抗毒素	投与後3か月間は 献血できない	
ツベリクリン反応	検査期間中の48時間 は献血できない	<ul style="list-style-type: none"> ・陰性の場合には採血できる。 ・陽性の場合、結核感染が疑われず、主治医から治療・精査を指示 されない場合には献血できる。

ご不明な点は、下記にお問い合わせ下さい。



お問い合わせ先

+ 岩手県赤十字血液センター
日本赤十字社

〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳6-1-6

医務課 伊藤 寛泰、所長 中居 賢司

TEL 019-637-7201